

# 市政運営方針

令和3年度の予算などを審議する市議会3月定例会が2月26日に開会。山崎善也市長はこの日「オール綾部でコロナ禍を乗り越え、夢や希望を明日へつなげる施策を展開する」と市政運営方針を述べました。



所信を述べる山崎市長＝2月26日、本会議で

## コロナ禍は時代の転換点

綾部市政を担ってから11年が経ち、3期目の締めくくりに年を迎えました。この間、過去の課題整理や将来への種まき、そして市民が住み続けたいと思えるまちづくりにまい進してきました。一方で、度重なる災害をはじめ幾多の課題に直面。厳しい財政運営を強いられる中で、さらに新型コロナウイルスという、誰もが想像し得なかった災厄に見舞われました。

## 計画に市民憲章6つの柱

令和3年度から、今後10年間のまちづくりの指針である第6次市総合計画がスタートします。今議会で提案する計画案の将来都市像は「一人ひとりの幸せをみんなで紡いで実現できるまち：綾部。本市に住む人や関係する人の、一人ひとりの人生の質が向上

するよう、ここに住んでよかったと思える施策の展開を目指します。  
同計画は、市民憲章の6つの柱を基本に据えています。加えて「医」「職」「住」「教育・情報発信」を引き続きキーワードにするとともに、国連が定めた持続可能な開発目標「SDGs（エス・ディ・ジーズ）」の視点も導入。将来を見据えた、持続可能な綾部市を築いていきます。  
あわせて、世界的、全国的な広い視野で俯瞰する「鳥の眼」、地域の生活に根差した「虫の眼」、世の中の流れを見極める「魚の眼」で物事を分析。地に足をつけた綾部スタイルの施策を行います。

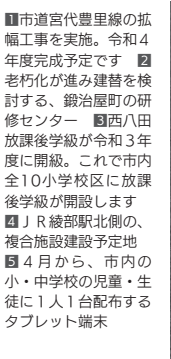


## 持続可能なまちづくりを推進



教育によって情報活用能力を育みます。このほか、コンビニエンスストアで各種証明書が発行できるシステムの導入やさらなる情報発信にも努めます。  
近年多発する風水害に備え、出水期の被害を低減する国土強靱化の取り組みを推進。2050年脱炭素社会の実現に向け、環境負荷の低減や二酸化炭素を吸収する森林整備にも取り組みます。

## より良い未来へ尽力



アフターコロナの時代を生きて抜く力を培うため、キャリア教育に加えて、児童・生徒1人1台の情報端末を整備。デジタル技術を利用した情報

コロナ後の時代に向けて  
旧村単位での活性化と、水源の里の取り組みを組み合わせ、市全体の底上げを図ります。農村・都市交流の拠点である里山交流研修センターでは、テレワーク利用も視野に入れた再整備を検討します。またなかでは▽宮代豊里線の拡幅▽JR綾部駅北側に子育て支援施設や地域交流センター、図書館の複合施設▽市立病院に病児保育施設などを拠点施設の整備に着手します。

令和3年度当初予算は、令和2年度3月補正予算と一体化して編成。コロナ禍に対応して、ワクチン接種の円滑な実施や感染予防の「守り」と、経済社会活動を支援する「攻め」を両立するとともに、第6次市総合計画の初年度として、将来へつなげる施策を組み込みました。市民の皆さまの協力と、国や府、近隣自治体との連携をもって臨めば、未曾有の困難であっても必ず乗り越えられるとの信念を持ち、より良い綾部の未来のため粉骨砕身努めてまいります。



移住に関する各種相談をワンストップで対応する定住サポート総合窓口。セミナーの開催や積極的な情報発信を行っていきます

# LINE 始まります

市はこのほど、情報発信手段の一つとして、無料通信アプリ「LINE」(以下、LINE)の綾部市公式アカウントを開設しました。

**緊急情報などをお知らせ**  
市は、広報紙やホームページ、ラジオ、メールマガジンなど、さまざまな媒体で情報を発信しています。今回新たに、SNS(ソーシャルネットワーク)キングサービス)を活用した情報発信として、LINEで市のお知らせを配信します。アプリ上で市公式アカウントを友だちとして登録すると、災害時の緊急情報やイベントのお知らせなどが届きます。また、市公式ホームページなどに手軽にアクセスできます。ただし、同アカウントでは個別にメッセージの送受信はできません。手軽に情報が受け取れる同アカウントを、ぜひ登録してください。

## 登録方法

LINEのアプリをスマートフォンなどにインストールした後、いずれかの方法で、綾部市公式アカウントを「友だち追加」してください。



①ID検索で「@ayabecity」を検索し、追加を選択

②QRコードを読み取り、追加を選択



・配信は不定期です。原則として、平日午前9時~午後5時に配信します。ただし、災害などの緊急時は、時間を制限せずに配信します。

・画面の下部に表示されるメニューボタンから、知りたい情報に手軽にアクセスできます。メニューボタンの内容は変わる場合があります。



綾部市ホームページが開きます。

市公式ホームページに掲載している、新型コロナウイルス関連情報のページが開きます。

市公式ホームページに掲載している、ワクチン接種関連情報のページが開きます。

市公式ホームページに掲載している、広報あやべ「ねっと」のページが開きます。

市公式Facebookが開きます。

市公式ホームページに掲載している、あやバス情報のページが開きます。

<問い合わせ> 秘書広報課 ☎(42)4205

## 令和3年度国保料

### 9年連続据え置きに

市は2月10日令和3年度の国民健康保険(以下、国保)の運営について、市国民健康保険運営協議会(木下芳信会長)から答申を受けました。1人当たりの国保料は据え置きで、関連予算案を市議会3月定例会に提出しています。

### コロナによる経済情勢に配慮

国保とは、加入者が安心して医療を受けられるよう、保険料を出し合って負担を軽減する制度です。しかし、近年は加入者が減り保険料などの収入は減少。医療費などの出費は年々増加しています。II



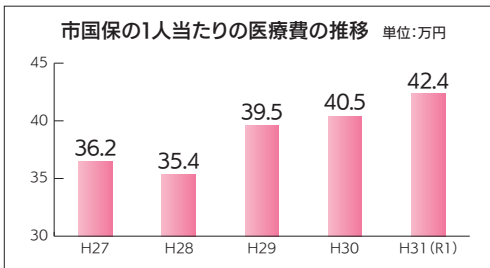
木下会長=写真左=から答申を受ける山崎清吾副市長

ラフ。本年度は新型コロナウイルスの影響による医療機関の受診控えなどで、医療費は前年度より減少する見込みですが、依然として厳しい状況です。このような中、コロナ禍での経済状況を鑑み加入者の負担を考慮。国保準備基金(貯金)を活用して、来年度の国保料を据え置きとしました。

令和3年度の1人当たりの国保料の平均年額は、医療給付費や後期高齢者支援金分、介護納付金分を含め、7万6388円(昨年と同額)です。

### 健診を受けまじょう

市の国保では、40歳以上の加入者を対象に、特定健康診



査や特定保健指導を行っています。定期的な病院にかかっていても、年に一度は必ず健診を受けて、自分の健康状態を把握しましょう。

国保ではこのほか、病気の早期発見や健康増進のために▽人間ドック総合健康診断の補助▽糖尿病性腎症重症化予防▽あやべ健康プラザの会費助成―など、さまざまな保健事業を実施しています。自身の健康状態を知るとともに、生活習慣を見直す機会にご活用ください。



## 善言 語録

### 4つの眼

自治体経営には、全体を俯瞰し大局観を持つ「鳥の眼」と、地域に根差して個別の事象をしっかりと見ていく「虫の眼」の複眼が必要といわれてきた。グローバルとローカルを併せた造語を用いて「グローバル」な視点とも表現され、更に水の流れを見極める如く、世の趨勢を捉えている「魚の眼」が求められていることは本稿でも既報である。ところが近時の混迷する世の中においてこれでも足らず、加えて4つ目の「ゴウモリ

確かにここ10年、地震や大雨など自然災害が全国的に頻発し、福祉の向上と併せて住民の安全安心が、自治体経営にとってかつてない重要施策に位置付けられるようになった。また新型コロナウイルスのパンデミック後には、価値観の多様化や行動の変容が様々なパラダイムシフトを招く可能性が高い。その意味では4つの眼でも捉えきれないほど、複雑な要因が絡み合った多次元の連立方程式の解を求める時代に突入したと言えよう。

しかしながら、どんな世になったとしても揺るがせてならないのは、行政は一人一人の幸せの実現のために存在するのだということ。これを軸足に我々は4つの眼を光らせ、とことん考える脳と機敏に動く手足をフル活用し、混迷する時代に対峙していかねばならない。

山崎善也(綾部市長)

## 市の広報動画と写真が ダブルで賞に輝く



府と府広報協議会（会長、桂川孝裕・亀岡市長）が実施する「京都広報賞」。本市の世界連邦の取り組みを映像化した「未来へつなぐ平和都市 綾部」が映像の部で知事賞（府内1位）、「広報あやべねっと2020年4月号」の表紙が一枚写真の部で会長賞（府内2位）を受賞しました。

知事賞は、平成21年度（広報紙の部）以来11年ぶりで、映像の部では平成2年度以来30年ぶり。会長賞は、平成23年度（広報紙の部）以来9年ぶり、一枚写真の部としては平成22年度以来10年ぶりの受賞です。知事賞の作品は、府の代表として、全国広報コンクール（日本広報協会主催）に出品されます。

市は今回の受賞を励みに、今後も市民の皆さんに分かりやすく、親しまれる広報活動に努めます。



動画はこちらから  
ご覧いただけます



## あやべ 「来」の 成長を紹介

里町の資料館で3月21日まで、企画展「コウノトリの育児日記」を開催しています。令和2年に市内で誕生した綾来の巣立ちまでの様子を、写真とともに紹介。このほか、コウノトリのはく製の展示や生態の説明など、見どころ満載です。



## 健診受診や運動でポイントためて健康に！



市は、健康増進の取り組みとして「あやちゃん健康ポイント事業」を実施しています。健診受診や運動など、健康づくりに取り組んでポイントのため、賞品と交換や抽選に応募できます。本年度の参加者は1,042人。2月19日、エフエムいかるの番組内で抽選会を開催し、81人が当選しました。同事業は来年度も実施予定。皆さんも参加して、健康長寿で元気なまちを目指しましょう。



**大賞** 綾部市長賞  
コロナ火(禍)に向かって 安達秀敏 (青野町)

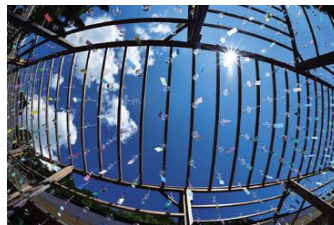
## 特選



綾部商工会議所賞  
神秘的森・老富 築山忠則 (京丹波町)



京都新聞賞  
春の古刹 松岡秀雄 (舞鶴市)



あやべ市民新聞社賞  
立秋の風 小倉正紀 (宮津市)



京都府観光連盟賞  
秋の朝 森下健太 (舞鶴市)



綾部市文化協会賞  
鮮やか！光明寺 安村 篤 (青野町)

市内外から258点集まる  
本市の豊かな自然や文化などの魅力を発信することを目的に開催する同コンクール。応募作品258点から大賞1点、特選5点、入選10点が選ばれました。大賞、特選以外の入選者は次の皆さんです（順不同、敬称略）。

蘆田哲<sup>さし</sup>（位田町）▽梅原隆（上野町）▽梅原誠（相生町）▽中山茂樹（上野町）▽白木勇治（福知山市）▽畑中友惟（同）▽島本和美（舞鶴市）▽吉田貴雄（宇治市）▽立入正浩（京都市）▽福井孝<sup>とし</sup>（滋賀県）  
入選作品は3月19日（金）から4月8日（木）まで、あやべ観光案内所（駅前通り）で展示。以降、市内各所で約1か月ごとに巡回展示します。

市観光協会（平野正明会長）は「輝くあやべ・再発見」をテーマにデジタルフォトコンクールを開催し、このほど入賞者を発表しました。大賞は、消防出初式の儀式放水を写した、安達秀敏さん（青野町）の作品です。